

十四間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地

伊勢 桑名 三五度〇四分〇〇秒

四日市 三四度五八分〇〇秒

山田 三四度二九分〇〇秒

松坂 三四度三四分〇〇秒○中略

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒○中

伊勢 桑名 東〇度五七分一一秒

〔勢陽雜記〕一凡伊勢の國は山を西にし、海を東になせり、この故に大體西南の風には船がかり快く、東北の風には不快なり、國の圖南北二十餘里、東西六七里、或は十里、十五里、其中南の方は、東西廣し、西の方峯筋を國境とせし故、海迄の川の大小を以て、國境の遠近をはかるべし、備山につづきて、美濃、近江、伊賀、大和、紀伊、志摩六ヶ國に隣をなし、海より向ひは尾張、三河のあたり近くして、七八九里餘の渡海なり、京都への行程二十餘里、東海南海の兩道は舟路のたよりよし、此故に商賣運送の廻船、いづれの湊にもたえまなく、出入しけるほどに、他國の名物重寶求るにたよりあり、元來魚類、海藻、鹽油、炭薪、木材に至るまで、當國の土産にしてとほしからず、
 〔南方紀傳下〕嘉吉元年三月二十三日、將軍○足利義持參宮後、勢州被相改堺目等也、
 〔日本地誌提要〕伊勢疆域、東及南ハ海、西ハ近江、伊賀、大和、東南ハ志摩、西南ハ紀伊、北ハ美濃、尾張ニ至ル、東西壹拾貳里、狹處四里、南北凡貳拾七里餘、

〔日本實測錄島嶼〕伊勢國度會郡、實測、桂島、周廻一十五町一十五間

七日山、周廻二十

一町四十五間、小品島、周廻三町四十六間

シ、島、周廻五町六間、中之磯、周廻

一十二町一十一間、村島、周廻八町三間、遠測、御座石、立石、小村島、杉島、琴島

御所島、茶臼島、蟹島、雀島、村島、思ヒ島、丸島、礫浦、烏帽子島、大島、礫浦、ナラシ